

【『イギリス哲学研究』第47号（2024年3月）、156-158頁の正誤表】

当学会刊行の学術雑誌『イギリス哲学研究』第47号（2024年3月刊行）において、刊行後に、執筆者の過誤に起因しない「校正ミス」があることが発覚しました。ここにお詫びするとともに、以下に、正誤表を掲載いたします。

なお、本件については、重ねて、2025年3月刊行予定の第48号誌上でも、該当箇所全体の「修正版」を再掲載する予定です。また、第47号誌のJ-STAGEでの電子版公開（2025年春以降）にあたっては、同様に「修正版（追記文言を添えたもの）」の掲載を検討していることも申し添えます。

（編集委員会 2024年9月）

【正誤表】

●157頁・左21行目

（誤）ミルを位置づけ直す思想史研究も生まれた

（正）ミルを位置づけ直す思想史研究もさらに登場した

●157頁・右17行目

（誤）ベルによると

（正）ベルによって

●157頁・右25行目

（誤）時代のコンテクストともに

（正）時代のコンテクストとともに

●158頁・右2行目

（誤）ミルの歴史学とも密接な関係がある

（正）ミルの歴史学にも深く関わる

●158頁・右17行目～18行目

（誤）分析をさらに進めることが、ミルの永続性を維持するためにも

（正）分析を進めることが、ミルの永続性の維持にも

●158 頁・右 20 行目

(誤) 日本学術振興会特別研究員

(正) 日本学術振興会特別研究員(PD)

●158 頁・右 21 行目

(誤) —— [空欄 (末尾行スペース)] ——

(正) 【付記】 本報告は JSPS 科研費 22KJ1781 の成果の一部である。

以上
